

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

ノリ養殖の生産指導及び養殖状況調査

県北広域本部水産課・宗 達郎

【背景・目的】

本県の主要水産物であるノリ養殖は、約 100 億円の生産額を誇っている。ノリ養殖業の振興は、管内のみならず本県水産業の重要課題となっている。

そこで、管内のノリ養殖等の状況を正確に把握し、ノリ生産者及び関係機関へ迅速で的確な情報提供と指導を行っていくため、適時適切にカキ殻検鏡、芽付け検鏡、ノリ養殖状況調査を実施することを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) カキ殻検鏡及び指導（令和 3 年（2021 年）10 月 16 日～10 月 17 日）

カキ殻検鏡を実施し、ノリ糸状体の孢子嚢形成・成熟状況を把握するとともに、生産者にカキ殻の管理指導を行った。

(2) 芽付け検鏡巡回指導（令和 3 年（2021 年）10 月 22 日～26 日）

各漁協で実施される芽付け検鏡について、県漁連、熊本市と連携して、生産者への指導・助言を行うとともに、芽付き情報の収集を行った。

(3) ノリ養殖状況調査（令和 3 年（2021 年）10 月 28 日～令和 4 年（2022 年）3 月 10 日）

県漁連、熊本市と合同で管内のノリ養殖場を巡回し、環境測定（水温、比重、プランクトン量）を行うとともに、ノリ葉体を採集し、病害等について検鏡を行った。

【成果・活用】

カキ殻検鏡により得られたカキ殻糸状体に関する情報は、関係機関と共有し、種付け日、養殖スケジュール（環境適応型ノリ養殖）の検討に活用した。

芽付け検鏡巡回指導については、漁協職員等と芽数のチェックをすることで、現場の検鏡精度の均一化・向上に貢献すると共に、その後の養殖指導にて活用した。

養殖状況調査では、関係機関が協力して実施したことで、情報や問題点の共有化ができ、より適切な指導ができた。また、調査結果は、調査当日に「ノリ養殖速報」として管内漁協及び関係機関等に情報提供を行った。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 カキ殻検鏡巡回指導



図3 芽付け検鏡巡回指導



図5 ノリ葉体サンプル採取



図7 ノリ葉体サンプル

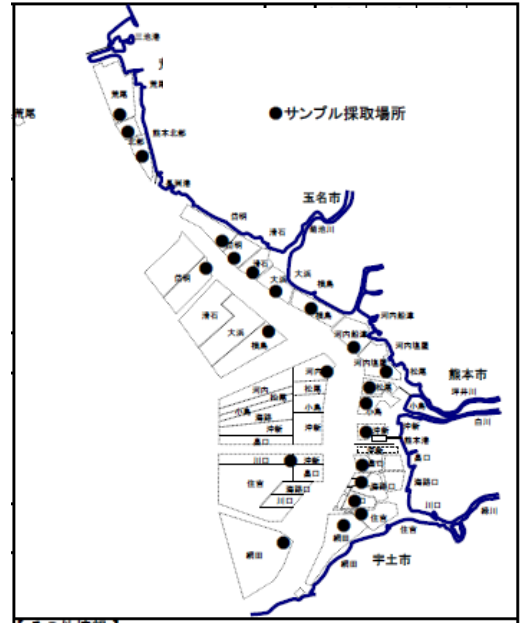


図2 ノリ養殖状況調査場所



図4 プランクトン採集



図6 水質観測

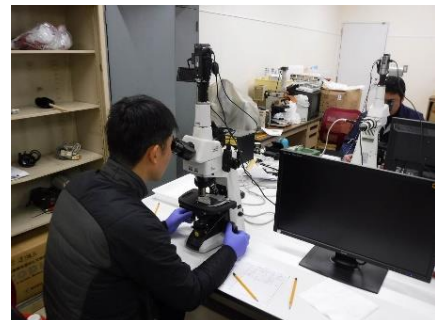


図8 ノリ葉体及び
プランクトンの検鏡